

教科書を創造的に活用するために [2]



応用編：私の授業構成

野澤重典 Nozawa Shigenori (長野県更埴市立西中学校)

先生方は、「LESSON 8のセクション2をどのように教えていますか?」と問われたとき、「私はこうやっています」あるいは、「こうすればいいと思いますよ」と明快に答えることができるでしょうか。また、「その展開はどのレッスン、どのセクションでも原則同じですか?」と問われたとき、何と答えるでしょうか。大変基本的な問いですが、改めて問われると、答えるのは難しいと思いませんか。私たちの周りには、研究会が数ありますが、このような基本的な内容についてあまり深まった議論がなされていないのが現実ではないでしょうか。

本稿では、前稿で述べた教科書を創造的に活用するための教材研究を踏まえて、できるだけ多くのレッスンで実現可能であろうと思われる50分の授業構成と LESSONの全体のまとめ方について述べたい。そして、それを生かした定期テストの例についても若干言及したい。今回は *NEW CROWN* 2年の LESSON 8を例に取り上げる。

1. 目標と生徒に期待する表現の具体化

50分の授業展開を構築する上で最も大切なことは、何と言っても、その授業で目指す目標を明確にとらえることである。本テキストでは「比較級・最上級」がターゲット・センテンスになっているが、テキストの題材を重視し、学習した表現がある場面の中で使えるようにすることを主目的とする授業では、「比較級・最上級の用法を理解し、それを用いて自己表現できる」ことを目標とするのは本意ではない。むしろ、テキストの題材であるインターネットの利便性と注意点について自分のことばで表現できることを目標にしたい。つまり、セクション1・2の目標は、「インターネットの利便性について英語で表現できる」ことに置き、セクション3では「イ

ンターネットの情報を受け取る時の注意点について英語で表現できる」ことに置く。つまり最終的に目標としたいことは、どのレッスンであろうとも「生徒がその題材に関連した内容について英語で自己表現できるようになること」である。そしてそれをできるようにすることが教師の責任と考えたい。

次に教師が行うことは、どのような表現を生徒に期待するのか、その具体を明確にすることである。それを明確にするには前回の教材研究と生徒理解が大切である。前稿の教材研究の視点を生かし、また、生徒の姿を思い浮かべながら、生徒に期待する表現を記述してみよう。たとえば、Internetの便利さは次のようにまとめられる。

The Internet is very useful, because

- ① it is like a library.
- ② we can get a lot of information with it.
- ③ it is the fastest and easiest way to communicate with people around the world.
- ④ we don't have to go to the library.
- ⑤ we can stay home and get a lot of information.

この例が示すように、①～③の文は教科書を活用しており、④⑤は教師が教材研究によって作りたい創造的な文である。年間を通して④⑤のような文をインプットしてもらえる生徒と教科書通りの文にしか接することができない生徒では、表現力で大きな差が生まれてくるであろう。教材研究の重要性が指摘される所以である。生徒の実態に応じて、もう少し頑張らせたいと考えれば、例えば、次のような TASK を与えるとよい。

〈TASK: 久美になったつもりでその日の日記を書きなさい〉

I used the Internet at school today. The Internet is very useful, because it is the fastest and easiest way to communicate with people around the world. The Internet is like a library, because we can get a lot of information very fast. I found that the ostrich is the largest bird in the world, but there were no moas now. I want to use the Internet more.

このように生徒に期待するゴールを設定した上で、次にこれを実現できる授業構成を考えたい。

2. 授業構成

そこで次のような授業構成はいかがであろう。ここでは LESSON 8 のセクション 3 を例に紹介するが、ほとんどのレッスンで同様の構成が可能であると考えている。

(1) 前時のターゲット・センテンスの復習

テキストの題材内容を重視しているが、ターゲット・センテンスの指導も無視できない。三省堂から出ている『ドリルブック』などを活用したい。負担の大きい家庭学習でもなく、5分程度で答え合わせができ、基礎・基本の定着のためにもよい教材であると考えている。

(2) 前時の自己表現・要約の表現

前時学習した内容について英語で表現させる。スピーチの形式がよい。ここでは、前のセクション 2 の内容になるので、生徒には次のような発表が求められる。

< TASK: インターネットの利便性について英語で表現する >

Do you often use the Internet? I do. The Internet is really useful, because it is like a library. We can get a lot of information with the Internet. And it is the fastest and easiest way to communicate with people around the world.

このように生徒は前のセクションの内容について英語で話す。筆者は毎時間 7~8 名の生徒を指名し、名簿に ABC の評価をつけている。学期末にはその結果を総括する。

(3) 本時のテキストの内容理解

セクション 3 のテキストの内容を Oral Introduction や Tape を聞かせるなどして内容を理解させる。この方法については本稿では紙面の関係で割愛する。

(4) 新出語の発音練習とテキストの音読練習

音読までの過程についても紙面の都合で割愛する。なお、筆者は、事前に家庭学習として、対訳ノートを作るよう指示してある。テキストを見ながら音読するよりは、日本語の訳を見ながら英語で音読する方がよいと考えているからである。

(5) 自己表現あるいはテキストの要約

セクション 3 はインターネットを使うときの注意が題材となっているので、それをまとめておきたい。前稿の教材研究の視点に沿ってまとめると次のような表現が可能であろう。

We have to be careful when we use the Internet, because

- ① we have to judge the information carefully.
- ② information may not be reliable.
- ③ some information may not be right.
- ④ we have to choose the best information.

ここでも ①② のように、テキストの文を用いた表現と、③④ のように創造的な表現の両者を生徒から引き出す。このようなまとめを行い、次の時間 (2) の段階で別の 7~8 名を指名し、スピーチ形式で発表させる。

3. LESSON 全体のまとめ

学習した内容・表現の定着と発展を図り、LESSON 全体のまとめとするために、筆者は次のようなプリント教材を作成している。

LESSON 8 Computer Communication まとめ

※あなたはインターネットを使ったことがありますか? インターネットはとても便利ですが、注意しなければならないこともあります。コンピュータ部に所属する博子さんのスピーチを空欄を補充しながら読んでみましょう。

Hello, friends. I am Hiroko. I am a () of the computer club. I often () the Internet. I will tell you about the Internet today. Please enjoy reading.

The Internet is very (), because we can () a lot of information from it. Last week I () to know about moas. So I used the Internet. It said, "Moas were () than ostriches. They () in New Zealand, but they are all () now." So we () see any moas now. There are no moas in the world. It () only a few minutes () find this information. The Internet is really useful, () it? We don't have to () to the library. We can () home and get these information very () and easily.

Do you have any () in foreign countries? I do. I have a friend in London. She is my () pal. When we communicate with each other, we don't use (), because it takes a lot of time to exchange. Instead, we use the Internet. It is really useful. We don't have to go to the () office. We can stay home and just () messages. I think that the Internet is the fastest and the easiest way to () with people () the world.

But we have to be careful () we use the Internet. We can get a lot of information with the

Internet. But those information may not be (). They sometimes have wrong information. So we have to () the best information. Information may not be always (). We have to () the information (). Thank you.

このようにすると、生徒は「私のインターネット体験」というテーマを与えられたとき、この博子さんの例を参考にスピーチができる。

4. 定期テスト

テストは学習したことを評価することが原則である以上、重視して学習したことは定期テストにも反映させたい。そこで、本校ではスピーチの原稿書きを出題している。本レッスンの場合、「私のインターネット体験というテーマで、インターネットの有効性と注意点について英語で書きなさい」という形式の出題になる。解答用紙は10行～20行、配点は15点～30点としている。下は、生徒作品である。

5. まとめ

ここで示したように、我々は、テキストの題材内容を重視し、「生徒がテキストの内容を理解し、それを音読でき、最後はテキストの内容について英語で表現できるようにする指導」をできるだけ多くのレッスン・セクションで実現したいものである。

